



がん就労支援サポーター養成講座のご案内



～ 社会保険労務士、ハローワーク従事者、産業カウンセラーなどを対象に～

がん医療は新たなステップに移り、がん経験者またその家族の生活の質に目を向けた医療が提供されつつあり、がんサバイバーシップの中においてのがん患者の就労支援が必要とされています。

日本の全がん罹患者数のうち、20歳から69歳までが46.8%を占め、約半数が就労可能年齢で罹患しており、就労中にがんと診断された患者の多くが、検査、手術、化学療法による通院および体調変化のために休職、ときには離職を余儀なくされています。さらに、その後の復職にも影響を与え「働きたくても働けない」状況など患者は、就労に関しての疑問や悩みを抱え、相談すべき機会や場を利用できないことを臨床では多く経験しています。

そこで、今回、がん罹患後の就労に関する悩みに対する問題解決の場として就労中のがん患者が就労の専門家に相談できる場を、病院内でもうけることを検討しています。皆さんにはがん治療についての理解を深めていただくとともに、病院内での相談支援の取り組みモデルのグループ介入（「就労リング」と名づけました）も体験していただきます。

「就労リング」の内容・目的は、就労に関する知識の提供を行い、問題点を共有し、患者の問題解決能力やコミュニケーション能力を高めることです。平成24年度は、2人1組のファシリテーターとして、①精神腫瘍医と看護師、②看護師とソーシャルワーカー、③看護師と社労士、の組み合わせで、患者5-10人のグループに対して、毎週1回、60分ずつで計3回の介入をしました。その結果、就労に関する知識や問題解決能力は有意に向上し、同時に、情緒状態も改善する傾向が見られました。（平成24年度厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業：山内英子班、分担研究者 保坂 隆）

がん患者への就労支援を行うにあたり、必要な知識や支援のポイントをロールプレイなどによって学んでいきます。ぜひ、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

開催日時： 平成25年9月29日（日） 10:00 ～ 16:00

| | |
|-------------|-------------------|
| 9:30 | 受付 |
| 10:00-11:30 | がんについての理解を深めよう |
| 11:45-12:30 | がん患者の心理と心のケアを知ろう |
| 13:00-15:50 | がん就労支援の実際（ロールプレー） |

場 所： 聖路加国際病院 研修室A（旧館 5階）

参加費用： 無料（平成25年度厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業：山内英子班）
昼食をご用意いたします。

【お申込み・問合せ先】

聖路加国際病院 医療連携室 /がん相談支援室 担当：橋本

電話 03-5550-7105 FAX 03-3543-7307

E-mail gansoudan@luke.or.jp

※詳細につきましては、研究班ホームページからご覧いただけます。<http://survivorship.info>

平成25年度厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）

がんサバイバーシップ「治療と職業生活の両立に向けたがん拠点病院における介入モデル」の検討と医療経済などを用いたアウトカム評価～働き盛りのがん対策の一助として～（研究代表者：聖路加国際病院乳腺外科部長 山内英子）

キリスト教の愛の心が 人の悩みを救うために働けば
 苦しみは消えて その人は生まれ変わったようになる
 この偉大な愛の力を だれもがすぐわかるように
 計画されてきた 生きた有機体がこの病院である

